

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2023

6

vol.306

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」

「父の日に乳(ちち)を贈ろう!」キャンペーンをPR



沖野農林水産部長へ牛乳・乳製品の贈呈

TOPICS

- ・市町村へ「父の日に乳(ちち)を贈ろう!」キャンペーン実施… ②～③
- ・「牛の見方研修会」初開催 …………… ④

6月は「牛乳月間」

福島県酪農青年研究連盟

「父の日に乳(ちち)を贈ろう！」キャンペーンをPR
6月1日「牛乳の日」に、沖野浩之農林水部長と牛乳で乾杯!



対談風景

新聞社にも訪問し、「牛乳の日」、「牛乳月間」をPR
牛乳・乳製品の消費拡大を呼びかけました

福島県酪農青年研究連盟は、六月一日(木)に「父の日に乳(ちち)を贈ろう！」キャンペーンのPRを行うため、福島県庁へ訪問しました。斎藤忠義会長より、沖野浩之農林水産部長へ、牛乳・乳製品を贈り、牛乳で乾杯しました。

今回の訪問の際には、沖野浩之農林水産部長をはじめ、安田宏幸技監、鶴見宏幸政策監、鈴木幸則生産流通担当次長、本多巖畜産課長と対談し、昨年、福島県より、配合飼料や輸入粗飼料に対する多大な支援を頂き、改めて、感謝を伝えるとともに、引き続き、今年度も様々な事業の展開と継続的な支援をお約束いただきました。

併せて、県内の新聞社二社へも訪問し、牛乳・乳製品の消費拡大への呼びかけを行いました。

さらに

各市町村へ、
「父の日に乳(ちち)を贈ろう！」
キャンペーンにて
牛乳消費拡大活動を実施!!

(各市町村訪問写真のお名前は全て左から順に記載しています。)

福島県酪農青年研究連盟において、各研究会や全県酪農同志会と協力し、五月中旬から、各市町村へ出向き、現在の酪農を取り巻く環境や酪農情勢を伝えるとともに、「父の日に乳(ちち)を贈ろう！」キャンペーンをPRし、牛乳・乳製品の消費拡大を呼びかける活動を行っております。

六月以降においても、牛乳・乳製品の消費拡大活動を引き続き、実施していきます。

5月22日(月) 三春町



坂本浩之町長・今泉 洋さん
・佐久間武夫さん

5月22日(月) 飯舘村



田中一正さん・杉岡 誠村長

5月16日(火) いわき市



渡邊 伸一郎農林水産部長
(有)いわき中央牧場 関谷等取締役社長

6月1日は「牛乳の日」

5月25日（木）南相馬市



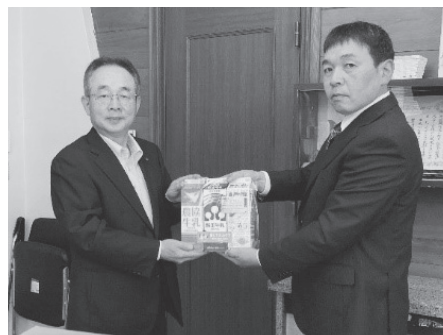
杉 和昌さん・柚原友加津さん
・門馬修一農林水産部農政課長・齋藤雄太農政課振興係主事

5月25日（木）相馬市



青田和子さん・柚原友加津さん
・伊東充幸産業部長・片平正秀農林水産課長

5月23日（火）川内村



遠藤清輝副村長・井出 淳さん

5月29日（月）新地町



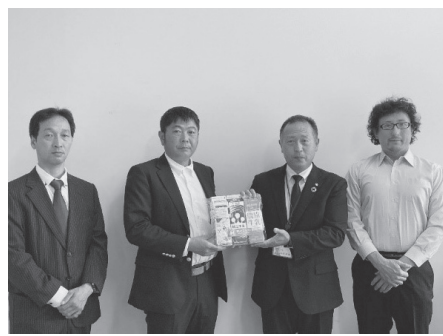
門馬秀昭さん・水戸崇宏さん
・大堀 武町長

5月26日（金）須賀川市



橋本克也市長・橋本幸太郎さん
・熊田勝浩さん

5月26日（金）郡山市



須藤陽治さん・橋本幸太郎さん
・和泉伸雄農林部長・佐藤竜司さん

6月5日（月）檜葉町



松本幸英町長・蛭田博章さん

6月5日（月）会津美里町



福田 匠さん・斎藤忠義さん
・横山美代子産業振興課農政係長

5月31日（水）鏡石町



目黒啓太さん・佐藤浩一産業課副課長
・橋本幸太郎さん



全国酪農青年女性会議

6月6日（火）矢吹町



木目澤初実さん・円谷真也さん
・小松 健太郎 副町長

6月6日（火）小野町



今泉 洋さん・村上昭正町長

福島県乳牛改良推進協会主催

「牛の見方研修会」を初開催 県内の学生が多数参加



講師：一般社団法人日本ホルスタイン登録協会
事業部長 國行 将敏 氏

5月16日(火)に、福島県乳牛改良推進協議会主催の「牛の見方研修会」が、福島県家畜市場（本宮市）で開催されました。初めて開催する研修会でしたが、県内の学生や酪農家、酪農関係者など約140名と多くの方に参加いただきました。

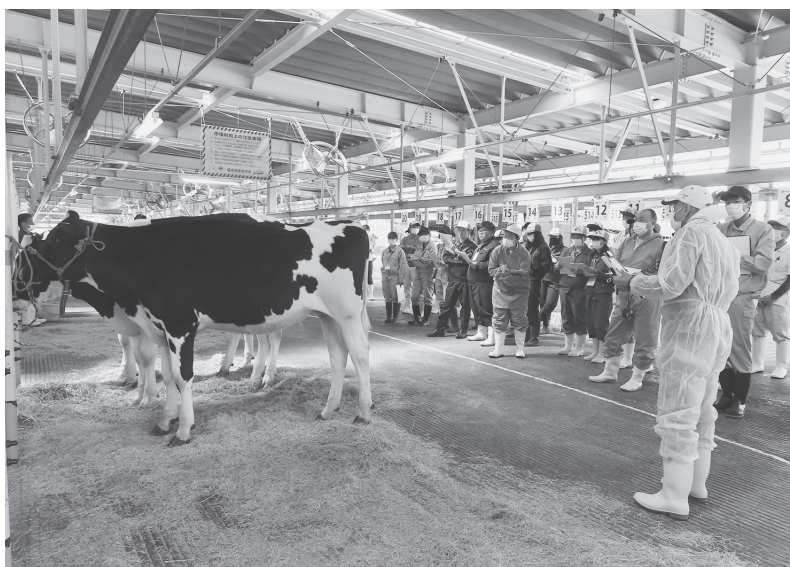
福島県の乳牛改良を進めるために、若手後継者や学生を対象として、まずは乳牛や酪農という職業に興味を持ってもらうきっかけと、酪農家と学生の交流の場を広げる目的で開催しました。

開催当日は、一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会 事業部長 國行 将敏 氏を講師に迎え、午前中は座学として、体の名称や骨格、体型審査、線形評価などについて、ホルスタインの見方を学びました。

午後には、福島県ホルスタイン改良同志会の協力のもと、未經産牛、経産牛合わせて6頭を教材牛としてご提供いただき、実際の乳牛を見ながら、体つきや姿勢、胸の幅、骨格などの評価ポイントを学びました。

参加した学生からは、「乳牛をまじかで初めて見ました！」や「学校に連れて帰りたい！」や「おっきいっ！」など、さまざまな声が聞こえました。県内では、乳牛を飼養している学校が少ない状況であり、今回の「牛の見方研修会」を通して、学生たちが乳牛について、学ぶ貴重な研修会となりました。

また、当協議会では、福島県内のレベルアップを図るために、9月に「毛刈り講習会」を開催予定しておりますので、ぜひ、皆さんご参加いただきますようお願いいたします。



教材牛を見ながら、学びました（教材牛の提供：福島県ホルスタイン改良同志会）



福島県乳牛改良推進協議会
会長 円谷 勝幸 氏（左）
一般社団法人日本ホルスタイン登録協会
事業部長 國行 将敏 氏（右）



終了書授与式
代表 福島県農業総合センター農業短期大学校
高橋愛斗さん

～輸入粗飼料産地情勢研修会～

去る5月29日、県中事務所会議室にて、カリフォルニア州最大級のヘイ輸出業者であるボーダーバレー・トレーディング社より、グレッグ・ブラウン社長、グレック・ジャクソン副社長、ジャレット・リース様の3名を講師に、企業概要も含め、2023年のPSW(北米太平洋岸南部)の粗飼料情勢の研修会を開催しました。

ボーダーバレー・トレーディング社からの引取として一番多いクレイングラスが、5月より刈取り開始されたこともあり、昨年2022年度産と2023年産のサンプルを比較する目合わせ研修会も行いました。



【産地情勢】

クレイングラスの作付面積は22,170エーカーと、昨年と比べ約3000エーカー増加しており、現在は1番刈りの最中で70%が終了し、早い圃場では6月前半から2番刈りが始まる見込みです。1番刈りクレイングラスの、品質は良好で、多くが綺麗な緑色でソフトな仕上がりかつ葉量も十分とのこと。

アルファについて、作付面積152,480エーカーで、昨年より18,882エーカー増加しており、現在3番刈りを収穫中。

品質は良いが、全体的に気温が高いため、高成分の発生は多くないものの、タンパク20%越え、RFV(相対的飼料価値評価)が150越えと、輸出向けとして良質なアルファが生産されているとのこと。



【NEWクロップの展望】

23年度産の粗飼料は、22年度に生産された米国内の酪農家の在庫が多いこと、21年より深刻であった早魘が、定期的な降雨や山間部の雪解け水で緩和され、輸出向けだけでなく、米国酪農家の牧草の確保が期待されること、加え最近の米国内の乳価の下落も飼料価格を押し下げる要因となり、昨年より粗飼料価格は安価になると予想されています。

【組合員のみなさまへ】

NEWクロップはもう少し先の話ですが、最新情報が入りましたら随時お伝えいたします。今後も品質の安定した供給をしていけるよう努めますので、組合員のみなさまにおかれましても、早め早めのご注文をお願いいたします。

全酪連の小窓 6月号 ～農場における衛生管理について～

日中は暖かくなり少し汗ばむ時期になりました。朝晩の気温差には気を付けつつ、外作業を進めていきましょう。外作業から帰ってきた際は、そのまま牛舎などに入るなどしていませんか？
今月は、生産性を下げないために農場での衛生管理についてお話します。

消毒の基本4点

- 病気の予防
→ 畜産病衛生
- 安全で清浄な食品の生産
→ 食品衛生
- 周辺環境への汚染伝播防止
→ 環境衛生・公衆衛生
- 安全で清浄な労働環境の確保
→ 労働衛生

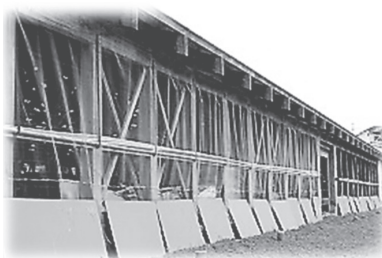
～基本的な消毒手順～

1. 除糞、器具の片づけ・取り出し
2. 洗浄（器具類）
3. 乾燥
4. 消毒剤散布
5. 消毒槽の設置
6. トラクター等車両の消毒
7. 媒介者駆除（害虫・害獣）

消毒前の事前準備

1. 農場の立ち入りの制限
→ 入口を仕切ることで改善への一歩
2. 農場外の清掃・整理
→ 草木は害獣にとって食べ物、水の供給源になるため定期的な除草が必要
3. 害虫・害獣駆除
→ 防鳥ネットの設置、定期的なネズミ駆除、サシバ工等の繁殖/巣になるような水周りの環境を整えていきましょう

病原体の持ち込み、持ち出しを
断ち切ることが大切になります。



消毒剤の紹介

バスターホワイトD 20kg/袋

特長

- 水とよく馴染み、良質の石灰乳剤に。
- メッシュが細かく細部まで浸透、畜舎内外の除菌に。また塗布後、吸湿性が高く、畜舎の乾燥を促進し除菌効果に期待。
- 金属製のものが錆びにくい特長を持っているため鉄柵、配管への塗布も可能。
(塗る材質によっては剥がれる可能性もあります。)
- 畜舎屋根などの暑熱対策資材としても活用可能。

散布量の目安

本製品1袋(20kg)：水約40L

(ホワイトD：水=1：2)

を缶に入れ、攪拌乳状にして散布。

1袋で30～40㎡散布可能。

粉末状態で直接散布も可能で、
除菌と嫌な臭いを抑える効果も発揮。



農場経営に害を及ぼす病原体に対応するには日々の防疫体制の構築が重要になっていきます。
日ごろから衛生面での管理を徹底して、生産に取り組んでいきましょう！

使用方法等でご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN

ZENOAQ コーナー Vol.222



牛舎で発生するイエバエ、サシバエの対策

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

前回でイエバエとサシバエの生態や見分け方を簡単にご紹介させていただきましたが、今回はそれぞれの成虫、幼虫に対する対策をご紹介します。

皆さんの農場で発生しているハエの種類を見分けてから対策の参考にしていいただければ幸いです。



成虫対策

空間に噴霧して落ちてくる
薬剤をハエに当てる

イエバエ、サシバエの成虫に対して、以下の対策があります。

●成虫剤

まずはハエ対策では一般的な方法である噴霧する成虫剤です。

ここでは噴霧するタイプの殺虫剤を成虫剤とさせていただきます。

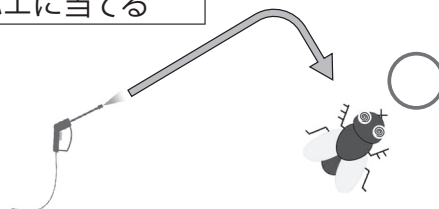
成虫剤の噴霧するポイントとしてハエにめがけて噴霧しないことです。

では、どのように噴霧するべきかと言うと、牛舎の天井に向かって空間噴霧し、落ちてきた薬剤をハエに当てるイメージです。

ハエは動きが速いため、ハエにめがけて噴霧するとハエは逃げてしまいます。

この場合、噴霧時は牛舎内にハエがいなくなりますが、数時間後には逃げたハエが牛舎に戻ってきて「薬剤が効かなくなった」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

その他の効果的な方法として雨や曇りの日などはハエが牛舎内に入ってきてやすいので、天候の悪い日を狙って成虫剤を噴霧することも1つの方法です。



●ベイト剤

最近では一般的な成虫対策ですが、名前の通りイエバエに自ら薬剤を舐めさせて駆除するのがベイト剤です。

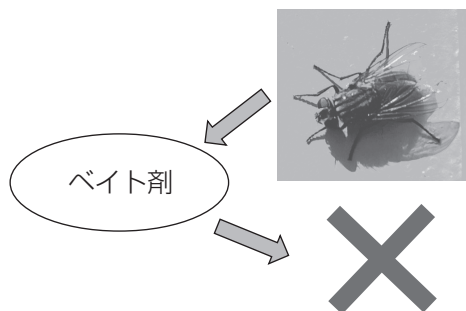
これは薬剤を希釈して壁などに塗布したり、粒状の薬剤をそのまま設置するものでイエバエが脚に付いた薬剤を自ら舐めたり、ベイト剤を直接舐めることで駆除できます。

また、ベイト剤の特長は簡便に成虫の駆除ができる点です。

使用方法としては基本的にハエが多くいる場所に設置することですが、日の当たる暖かい場所や温かい機械（車、重機など）によく集まるため、そのような場所の近くに設置することをオススメします。

ベイト剤を設置する際、駆除したハエを掃除しやすいようにバケツの中に設置したり、紙袋やサイレージのシートに設置して使用後に丸めて捨てると簡便に処理できます。

ベイト剤の注意点として、サシバエは吸血昆虫ですので、イエバエのようにベイト剤を舐めないため、サシバエは生態的に効果がありません。



幼虫対策

次は幼虫剤です。

イエバエもサシバエも幼虫の発生場所は農場内になりますので、1年間散布することで結果的に成虫の密度を下げるすることができます（ここでは幼虫の発生場所を発生源とさせていただきます）。

なぜ密度を下げるができるかと言いますと、ハエ類の各ステージの割合として成虫に比べて卵、幼虫、蛹が圧倒的に多いからです。

ですので、発生源対策をすることにより最終的に成虫の密度を減らすことに繋がります。

特にサシバエは牛に吸血ストレスを与える害虫なので、サシバエのシーズン中に成虫が少ない牛舎環境になるよう事前に発生源対策をしておくことも検討いただければと思います。

幼虫対策の重要なポイントとなる場所は堆肥場です。

堆肥場以外にも以下の場所が要注意ポイントとなります。

- ・ 除糞後の取りこぼしが溜まる場所
- ・ 除糞頻度の低いペン（除糞間隔が1週間以上）
- ・ 残滓が長期間溜まる（溜めている）場所
- ・ ミルクがこぼれて溜まる場所

ハエの幼虫の主な餌は糞や腐った残滓などになりますので、最も糞が堆積している堆肥場での対策が重要になります。

堆肥場に攪拌機がある方はしっかり全体に熱が行き渡り、幼虫も活動できなくなりますが、そのまま堆積している場合は薬剤による発生源対策もオススメいたします。

薬剤による発生源対策も重要ですが、定期的に掃除をして発生源となるポイントを少なくすることも重要な1つの方法になります。

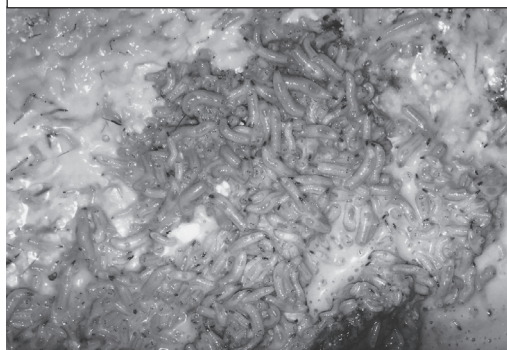
発生源を少しでも減らすことで幼虫剤を散布する場所も減り、薬剤コストの削減にも繋がります。

害虫によって大事な牛が感じるストレスを軽減できるようハエ対策に少しでも興味を持っていただけると幸いです。

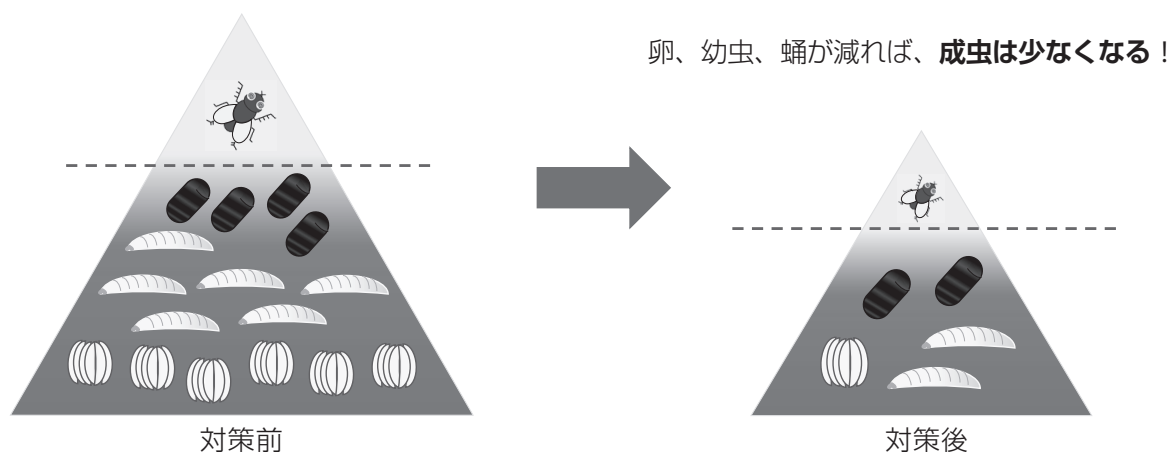
除糞時の取りこぼしにいたる幼虫と蛹



ミルクがこぼれた箇所にいる幼虫



発生源対策前後の農場内のハエの割合（イメージ）



福島県酪農協
生産部 購買畜産課

飼料タンク掃除実施のお願い

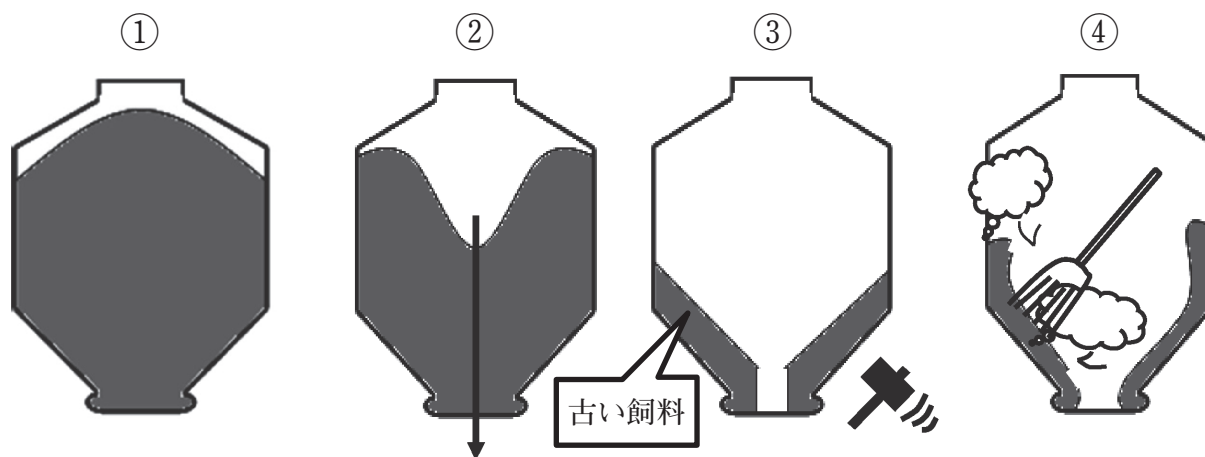
【酪農家の皆様へ】

いつもお世話になっております。

今年の梅雨入りは例年並みもしくは気持ち早い予想がされており、梅雨の季節は温度・湿度ともに高くなり、カビが発生し易くなります。

飼料タンクの壁側に古い飼料が付着したまま放置しますと、カビの発生を引き起こし、新しい飼料にカビが混入する可能性があります。

タンク内をご確認の上、長期間付着している古い飼料があれば、以下の方法にて取り除いて頂くようお願い致します。



飼料をタンク内に注入しますと、中心部が山のように盛り上がった状態になります。

飼料を出しますと中心部が陥没する状態が出てきます。側面飼料は内部に残ります。

第2回以降に飼料を入れる際は、ゴムハンマーで側面を軽くたたいて古い飼料を落とした後に入れて下さい。

1年に一度はタンク内部を完全にからにして、点検・清掃を行って下さい。

★側面に飼料がついたまま新しい飼料を入れますと側面の飼料は固着して落ちません。

★金属部分は年1回必ず塗装して下さい。

★ワイヤー金属部分がゆるんだ場合にはタンバックルを締めて下さい。
(雨水の浸水防止)

★タンクを水洗いした際は、しっかり風を通し乾かして下さい。

※タンクに上がる場合や内部に入る場合には、安全対策（転落防止、酸欠防止）をお願い致します。

何かご不明な点等ございましたら、各事務所・地区担当までご連絡ください。

令和5年度4月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より10円70銭上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg（税抜）の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg（税抜）の値上げとなっております。

■東北全体プール乳代金 4,610,592千円 単価118.128円
 ■内 福島県分プール乳代金① 519,570千円 単価118.128円
 プール対象外乳代金② 72,160千円
 （学乳向け・買取向け乳代金）

合計乳代金①+② 591,730千円 単価122.026円

項 目	令和5年4月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	118円923	108円238	10円685	108円896
補給金単価	1円341	1円321	0円020	1円223
集送乳調整金単価	0円409	0円414	-0円005	0円383
合 計	120円673	109円973	10円700	110円502

（注）上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

（東北全体4月）

用 途 別	販売乳量 (ト)	日 量 (ト)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲 用 向 け	26,097	870.0	96.4	63.9	62.8
加 工 向 け	5,600	187.0	88.9	13.7	14.6
学校給食向け	1,825	61.0	98.6	4.5	4.3
発酵乳向け	6,662	222.0	92.3	16.3	16.7
生クリーム向け	533	18.0	106.2	1.3	1.2
チーズ向け	138	5.0	89.8	0.3	0.4
合 計	40,856	1,363.0	94.8	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

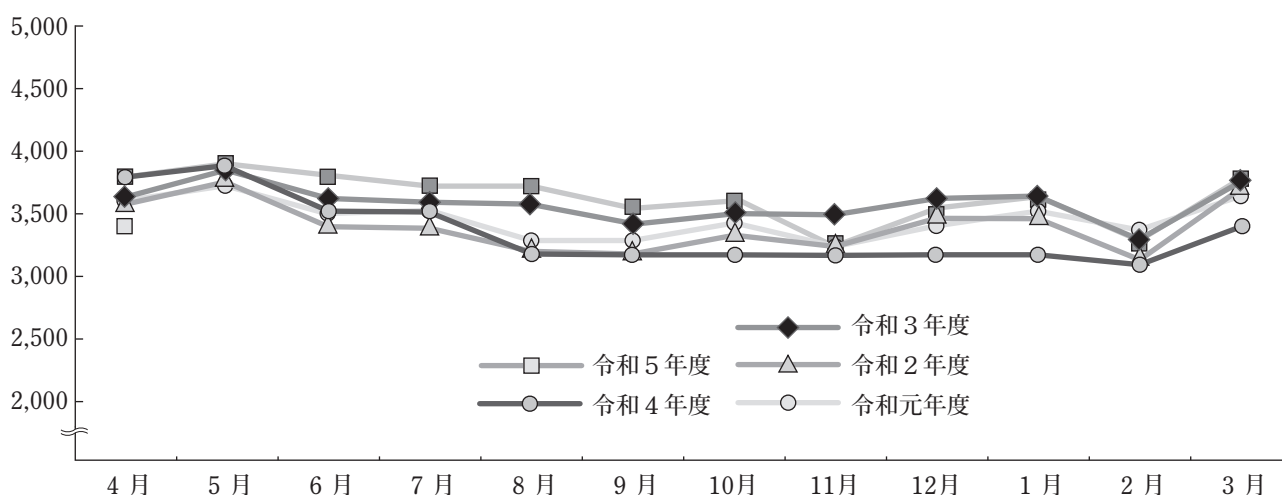
北海道：94.7%、都府県：95.3%

団 体 名	4 月 分		
	受託乳量 (ト)	日 量 (ト)	前年比 (%)
県 酪 協	3,407	113.6	92.3
全農福島県本部	1,442	48.1	87.9
合 計	4,849	161.7	90.9
東北生乳販連	40,856	1,361.9	94.8
全 国	587,500	19,583.3	94.9

月別受託乳量 県酪協（トン）

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407												
前年比%	92.3												

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和5年4月の受託乳量は、県全体で前年比90.9%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,407ト、前年比92.3%（対前年同284ト減）、全農県本部は1,442トの対前年比87.9%

（対前年同月199ト減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比94.8%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比94.9%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で生クリーム向けが106.2%と上回り、飲用向けが96.4%、加工向けが88.9%、学校給食向けが98.6%、発酵乳向けが92.3%、チーズ向けが89.8%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ

要素としては、配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業の生乳使用量は日量平均46.7^ト（前年比98.3%）で、本組合生産量の41.1%、県全体生産量の28.9%の処理量となりました。

年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和5年度	120.673												
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和5年4月31日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当たり頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 27	戸 32	% 84.4	頭 438	頭 188	頭 126	頭 454	頭 738	頭 1,318	頭 1,944	頭 2,001	% 97.2	頭 72.0
県 中	52	61	85.2	270	99	137	387	754	1,278	1,647	1,825	90.2	31.7
浜	7	7	100.0	92	44	31	59	99	189	325	319	101.9	46.4
県 南	34	40	85.0	580	262	208	628	943	1,779	2,621	2,872	91.3	77.1
合 計	120	140	85.7	1,380	593	502	1,528	2,534	4,564	6,537	7,017	93.2	52.7

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数								販 売 乳 量			
	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛
県 北	頭 72	頭 78	頭 124	頭 119	頭 124	頭 111	頭 140	戸 23	kg 34,536	kg 1,502	kg 29.0	kg 26.2
県 中	77	62	94	93	93	85	119	52	29,240	562	25.6	22.9
浜	21	18	25	22	20	16	12	7	4,780	683	30.3	25.3
県 南	148	117	160	165	147	162	199	32	45,155	1,411	28.7	25.4
合 計	318	275	403	399	384	374	470	114	113,711	997	28.0	24.9

第331回 県酪協乳牛市場成績

令和5年 5月12日開催

購買者数 29名(うち県外13名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	8 (100)	402,000 181,000	327,000 (101)	97 (104)	3,362 (96)
	雄	17 (100)	462,000 247,000	382,059 (94)	112 (102)	3,426 (92)
乳牛	メス	2 (100)	27,000 22,000	24,500 (-)	61 (-)	402 (-)
	雄	35 (100)	146,000 1,000	107,200 (150)	73 (100)	1,459 (149)
交雑牛	メス	67 (100)	212,000 10,000	114,507 (94)	75 (101)	1,535 (94)
	雄	75 (100)	245,000 20,000	160,027 (108)	79 (101)	2,017 (106)
経産牛		2 (100)	327,000 234,000	280,500 (113)		
初妊牛		8 (100)	619,000 215,000	376,000 (92)		
搾乳用雌子牛		7 (100)	249,000 143,000	189,857 (107)		

価格：円(落札価格) 率・比：% 体重：kg

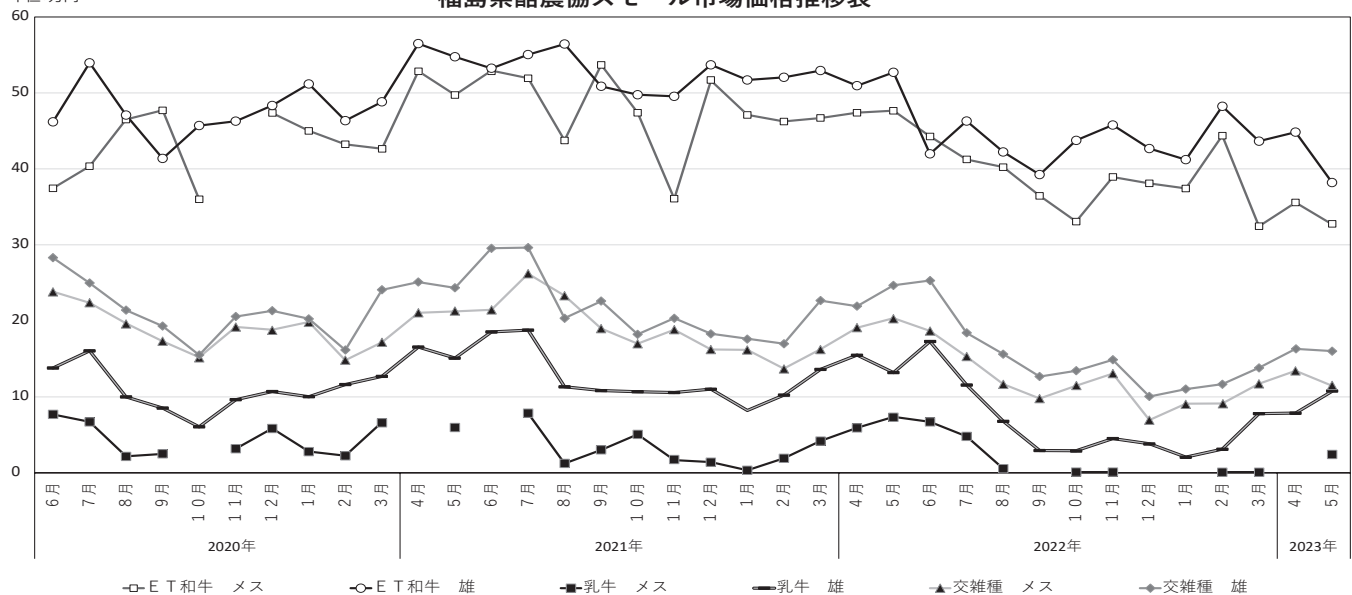
初生牛・妊娠牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

(0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																									
		<18	~	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	
ET和牛	メス	1								1			3	1				1		1							
	雄			1		1									1	4			4	1		1	2	1		1	
乳 牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	メス			2																							
	雄	1	1	2			1				1	5	3	2	4	11	4										
交雑牛		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	メス		1	1	1	1		1	3	2	5	4	11	25	5	3	1	1		1			1				
	雄			1	1							2	1	1	2	11	14	8	5	9	3	4	5	1	4	2	1
経産牛		<18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
							1										1										
初妊牛		<21	~	29	30	31	32	33	34	35	~	41	42	43	44	45	46	~	57	58	59	60	61	62	63	64	
		1		1		1		1		1		1					1						1				
搾乳用雌子牛		<1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
																1		3				1				2	

単位:万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 5 月

5月8日 令和4年度下期定期監査
 5月9日 福島県獣医師会理事会
 5月10日 (株)らくのう乳販定期監査
 5月10日 福島県牛乳普及協会幹事会
 5月11日 福島県乳牛改良推進協議会監査会
 5月12日 乳牛せり市場
 5月15日 県北地区運営委員会
 5月16日 福島県乳牛改良推進協議会
 牛の見方研修会
 5月17日 福島県乳牛改良推進協議会幹事会
 5月18日 県中地区運営委員会
 5月18日 浜地区運営委員会
 5月19日 福島県牛乳普及協会理事会・総会

5月22日 県南地区運営委員会
 5月23日 福島県酪農ヘルパー協会監査会
 5月25日 乳用牛群検定全国協議会
 通常総会
 5月26日 第2回理事会
 5月29日 乳質改善検討委員会
 5月29日 熊本県酪連視察
 ～31日 福島県乳牛改良推進協議会
 5月30日 第1回理事会、総会
 5月30日 令和5年度福島県牛乳協会通常総会
 5月31日 福島県酪農ヘルパー協会幹事会
 5月31日 第2回経営検討会

理 事 会

第2回 令和5年5月26日

議 案

- 議案第1号 令和4年度事業実績報告及び部門別損益並びに定期監査報告について
 議案第2号 令和5年度財務計画（案）について
 議案第3号 令和5年度経費の賦課及び徴収方法の決定について
 議案第4号 令和5年度における理事及び監事の報酬について
 議案第5号 第30回通常総会並びに提出議案について
 議案第6号 令和4年度表彰について

報告事項

- (1) 子会社の事業報告について
 (2) 経営検討農家の現状について
 (3) 役員の普通傷害保険加入について
 (4) 今後の日程について



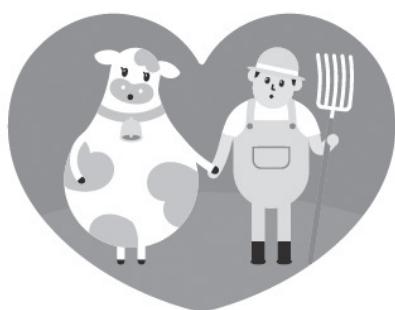
酪農ヘルパーの紹介

部署紹介

酪農ヘルパーは、専任 8 名、臨時 6 名で活動しています。
令和 4 年度から組合事業となり、県内一円で業務を行っています。



臨時ヘルパー：菅家 英樹、斎藤 麻貴子、福田 匠



愛してミルク？

World Milk Day 6.1
JAPAN

酪王協同乳業
からの

新商品ニュース

酪王カフェオレシリーズに「酪王ももオレ」が新発売!!

酪王カフェオレシリーズの新たなラインナップとして、これから旬を迎える“福島県産あかつき桃”と“福島県産生乳”を合わせた乳飲料を発売します。

福島桃の代表格あかつきは「白鳳」と「白桃」の交配によってできた福島県発祥の品種で、ジューシーで甘味が強いのが特徴です。

パッケージにはシリーズお馴染みの三角ロゴとフランス語はそのままに、福島に春を告げる「吾妻小富士の雪うさぎ」と麓に広がる「桃の果樹園」という、フルーツ王国福島を象徴する風景を取り入れました。

福島県産の生乳と桃、それぞれのおいしさがまろやかに溶け合い、とろけるような食感に仕上がった「酪王ももオレ」をどうぞお楽しみください。



発 売 日…6月26日(月)

販 売 先…県内各スーパー、
コンビニエンスストアなどで
お求めいただけます。

価 格…500ml 184 円 (税別)
300ml 146 円 (税別)
●福島県産生乳使用
●ミルク分 25% ●乳飲料規格

『特派員 報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思ひます。
ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(へお)する話題がいいですね)
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>